

ノースウェスタン大学 シカゴキャンパス留学記

Center for Vascular and Developmental Biology
Feinberg Cardiovascular Research Institute
Northwestern University

高田 望

(ノースウェスタン大学医学部腎臓部門)

アメリカ合衆国のシカゴ市は冬季の気候が非常に厳しい事で有名ですが、それ以外の季節は日照時間の長い、カラッとした格別に過ごしやすい大都市である事はあまり知られていないかもしれません。私の好きな夏にはミシガン湖付近の多くの砂浜は遊泳可能なアフターファイブの人気スポットになります。

私の所属するノースウェスタン大学医学部の Oliver 研究室はアルゼンチン、スペイン、韓国、中国、イギリス、ウルグアイ、日本出身の研究者からなる非常に国際色豊かな研究室です。ボスを筆頭にポスドク6人、リサーチテクノロジスト1人という構成で、メンバーの研究レベルや経験値は非常に高く、毎日多くの刺激を受けてきました。

Oliver 研究室では大きく二つの柱で研究を展開しています。一つは神経の研究、もう一つはリンパ管（血管も含む）の研究です。この一見異なる二つの研究対象を、見事に一つの研究室で運営する様子を目の当たりにし、私は感銘を受けました。Oliver 教授は多くの研究のつながりをヨーロッパ、アジア、南米、本国アメリカにおいて持っており、このパイプラインを活用する事で、ユニークかつ効率よく研究を進めています。Oliver 教授はプレゼンテーションや会話がとても上手で、これが多くの共同研究を呼ぶ秘訣かもしれません。実際、私は普段のセミナーや学会において、多くの事を彼から学ぶ事ができました。余談ですが、私はノースウェスタン大学の医学部の先生方が主催する日本人勉強会にも定期的に参加させてもらっています。ここでは研究や私生活を含めて多くの有力な情報を共有する事ができます。

息抜きができる週末は、研究室のメンバーが主催するホームパーティーに参加し国ごとに異なる料理や飲み物、もてなし方などを堪能する事ができました。シカゴには様々なレストランがあります。キューバ料理、メキシカン料理、中華、タイ料理、スペイン料理、特におすすめはシカゴ名物のディーブディッシュピザです。そして、多くの国の食材は日本食材も含めて、車で行ける範囲にあり便利です。加えて、様々な国によるパレードや、フードイベントなどが、ここシカゴの国際色の豊かさを物語っています。多くの文化が混在する奇妙にまとまった街シカゴ、現地で生活していないと実感できないような面白い事がまだまだ多く

あます。この中では全て書ききれませんが、留學生活は私の人生の中で貴重な経験になるだろうと思います。

時には落ち込んだり行き詰まったりしますが、外に出て広大なミシガン湖を一望し気分転換する事でまた新たな気持ちで仕事に臨めます。アメリカでの研究スタイルを存分に吸収して、良い研究成果につながる様、これからも尽力していく所存です。そして、これからも日本人研究者が海外においても活躍される事を強く望んでおります。

最後になりましたが、このような貴重な機会を与えて下さいました上原記念生命科学財団の皆様へ深く御礼申し上げます。 (30. 4. 12受領)

